



公開講演会報告

17(日) 市ヶ谷TKPカンファレンスセンターにて

宝仙理数インター富士晴英先生ご登壇



去る11月17日、やや肌寒くはあったが晴天に恵まれた日曜日の午後。市ヶ谷駅前のTKPカンファレンスセンターに於いて、ティープロ算数主催の公開講演会(無料)が開催された。今回は、今年順天堂大学の系属校となった、中野坂上にある「宝仙学園理数インター」(<https://www.hosen.ed.jp/jhs/>)の富士晴英校長先生をお招きし、ご高説を賜った。参加者としては、ティープロのご父母に加え一般からのご出席もあり、会は大盛況となった。



<市ヶ谷・TKP カンファレンスセンター>



<宝仙学園・富士晴英校長先生>

冒頭、ティープロ代表香取輝忠がこの日の司会として会の趣旨を述べた。ティープロ算数は、「卓越した智の収穫」を旗印に、創立以来25年、桜蔭・開成・灘などを中心としたトップレベルの中学に合格者を送り出してきた中学受験専門の進学塾である。一方で、その教育理念には「ひとつひとつの夢に寄り添う」という使命を掲げている。この日の講演会は、その具体的な教育事業の一つとして開催された。



代表の香取からは「今回は、宝仙学園さんの素晴らしさについて知っていただくという面もありますが、それにも増して、さらにこの学校の教育方針や学風、建学の精神を全員で学ばせていただくことが一番です。」という趣旨の説明があった。



さらに、宝仙学園さんからは、中野教頭先生はじめ5人の先生がゲストとしてお越しくださったので、香取から、お一人ずつご紹介をさせていただきました。